

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和6年度）

（事業所名）タテホ化学工業株式会社

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

当社のホームページ（<http://www.tateho.co.jp>）で公開しています。

環境方針

■基本理念

タテホグループは、環境を経営の最重要課題のひとつと位置付け、継続的改善により、事業活動のあらゆる面で負となる環境影響の低減に取り組み、地球環境に配慮した製品の提供に努め、環境保全及び汚染の予防を推進し、人と自然が調和できる社会の実現に貢献する。

■基本方針

当グループは、マグネシウム化合物及び関連製品の研究開発・製造・販売等の一貫した事業活動において、製品の製造から廃棄までの環境負荷が最小限になるように、環境汚染の予防、地球温暖化対策（脱炭素）、資源の有効利用、及び化学物質による人や環境への影響を減らすことに取り組む。また、社員一人ひとりの活動が地域及び地球規模の環境問題と深くかかわりがあることを認識し、業務に融合した環境活動を社内外で実施する。

1. 環境に関する情報開示に努め、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを通して環境、安全、品質に考慮した製品を開発及び提供することで、より良い地球環境の実現を目指す。
2. 環境方針と実施計画及び成果を社員一人ひとりに周知し、それぞれの立場で環境問題を考え、グループ全体での環境意識の向上に努める。また一般にも広く公開する。
3. 地域社会、その他関連団体等の活動・行事への参加・支援を通して社会貢献の輪を広げる。
4. 環境関連の法規制並びに協定書の順守、更には自主的な取り組みにより、環境負荷の継続的改善に努める。
5. 環境方針達成のため、目的・目標を設定して実行するとともに定期的な見直しを行う。

2025年7月1日



2 環境保全活動の実施状況等

取組目標	具体的取組内容	(取組結果)	今後の取組計画
1) 社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の清掃 ・工場周辺の清掃 ・里山保護活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月30日(ごみゼロの日)赤穂クリーンアップ大作戦(中心市街地の清掃活動)に6名参加。 ・赤穂工場、有年工場、響灘工場 隣接道路周辺等の清掃活動を随時実施 ・2013年から『タテホ&豊福ピーチプロジェクト』里山保護活動を継続実施(5/25、7/15) 	<ul style="list-style-type: none"> 来期も継続する 来期も継続する
2) 環境保活動の啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ、使用済み切手の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ(22.2kg) ・使用済み切手回収活動(1kgで1,600円に換金され、乳児の1週間分の粉ミルクを支援できる額に相当) 	<ul style="list-style-type: none"> 来期も継続する
3) 廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物のリサイクル化 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物再資源化率 <u>99.8%</u> で目標とする99%以上を達成。 	<ul style="list-style-type: none"> ゼロエミッションを来期も継続する 電子マニフェストの使用比率を上げる
4) 公害防止	<ul style="list-style-type: none"> ・大気、水質、騒音に関する法規制の順守 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき赤穂工場、有年工場の大気、水質、騒音に関する環境測定を実施、協定値を順守 	<ul style="list-style-type: none"> 環境測定・監視の継続
5) 温暖化ガス削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド車の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂工場の社有車を削減(6台→5台) ・ハイブリッド車に更新(1台) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・オンサイトPPAサービスの利用 	<ul style="list-style-type: none"> 赤穂工場と有年工場のオンサイトPPAサービス導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施する